

記者懇談会の記録

日時	令和5年5月24日（月）15：30～16：05
場所	岩見沢市役所3階 会議室3-1・3-2
記者数	6人

1 開庁140年・市制施行80周年記念事業について

（市長）

本年、令和5年、岩見沢市は、明治17年（1884年）10月6日の岩見沢村設置から140年、昭和18年（1943年）4月1日の市制施行から80周年を迎えることとなります。

市では、節目の年を記念して、10月6日金曜日に、まなみーる市民会館大ホールにおいて記念式典を開催します。式典では、市政功労者表彰式を行うほか、交響詩岩見沢、北海道教育大学岩見沢校の学生による演奏会の実施等を予定しています。

また、開庁140年・市制施行80周年記念の趣旨に賛同する協賛事業を募集し、記念事業の冠とロゴマークを付けていただくことで、周年記念を祝う機運の醸成を図ってまいりたいと考えています。協賛事業については、6月1日から募集を開始する予定です。なお、ロゴマークは市から教育大学岩見沢校に制作を依頼し、岩見沢校の中で選ばれた学生3人がデザインしたものととなります。

次に、資料2ページ目の「いわみざわ芸術文化・スポーツの祭典」についてです。

令和5年は、ともに「芸術文化・スポーツのまちづくり」に取り組んでいただいております北海道教育大学岩見沢校が、大正12年（1923年）に「北海道庁立実業補習学校 教員養成所」として設置されてから、ちょうど100周年にあたることから、同校の記念式典が予定されている、9月23日の土曜日から、10月6日の金曜日に予定している市の式典を挟んで、10月9日のスポーツの日までを一応の会期として、岩見沢校と連携をしながら、市内各所において、芸術・文化、スポーツに関する多彩な記念イベントを展開したいと考えています。

祭典の事業の一例ですが、公募による「いわみざわ絵画大賞展」、市役所4階テラスで実施するミニコンサート、こちらは5月26日から開催する予定で、今気温が低いので、5月26日については1階のロビーで開催をすることとしていますが、そのミニコンサートを挙げているほか、教育大学による音楽発表会や展示会を開催し、市の既存事業も開催時期を調整しながら、祭典の会期中に集中的にできれば実施したいと考えております。このほかの事業の内容やスケジュール等については、今後、ホームページなどで発信してまいります。

節目の年に北海道教育大学岩見沢校と連携して周年記念事業を実施することで、芸術や文化、スポーツが、市民の皆さまの暮らしにより深く根付いて、地域のイメージとしても広く定着していくよう、取り組んでまいりたいと考えています。

<質疑応答>

(北海道新聞)

まずこのロゴマークの、意図とといいますか、どういうロゴなのかというご説明をいただきたいと思うのですがよろしいですか。

(市長)

これですが、「観て、聴いて、動く」ということを「岩」という文字で表したのですが、「観て」は目なんですよ。そして「聴いて」が耳で、「動く」がこの部分、人の形なんです。ということで「岩」という字を「観て、聴いて、動く」というコンセプトでまとめたものとなっています。

僕が最初見たときは、これは岩という字ですけれども、また併せて、岩見沢を取り囲む山並みだとか、あるいは川だとか、案外この部分は田んぼじゃないのかなと、そういう自然環境などを表してくれているのかなというふうにも思ったところです。

(北海道新聞)

それと、協賛事業の募集ということですが、主に言えばどのような事業の募集というイメージでしょうか。

(市長)

担当課で一応の要件等も確認していきますが、広く協賛として取り組んでいただけるということで、特に内容に大きな制限をかける予定はありません。

(北海道新聞)

ざっくり、市内の企業だとかといった。

(市長)

はい。団体ですとか。広く、周年でなくても取り組んでいただいているようなものも、今年は記念事業ということで取り組んでいただくことも可能ですし、新たな取り組みを記念事業として、担当課と協議していただいて、取り組むことも可能になっています。

(プレス空知)

祭典期間中の催しだったのですが、例に挙げていただいたもののほかに、スポーツで言うと、例えばどのようなものを予定されていますか。

(市長)

今、祭典の実行委員会を作って、そこで募集を受けていろいろ協議していきますが、スポーツ大会ですとか、あるいは各スポーツの体験教室ですとか、そういったものも予定しています。それらが、一応その期間中にいろいろなところで楽しめるような、そんなことをコンセプトにして今協議を進めています。

2 岩見沢市内における農作業（春作業）の進捗状況について

(市長)

先日も田植えの視察に行かせていただいて、とても寒い日でしたが、5月18日から順調に作業

が進んでいるということで、改めて進捗状況についてご説明をさせていただきたいと思います。

まず融雪期ですが、今年は平年より10日早い3月23日に融雪期を迎えたということで、3月下旬から春作業が開始されています。

空知農業改良普及センターが取りまとめた農作物生育状況調査によりますと、水稻については、播種作業が4月20日から始まり、平年より1日早い4月26日に終わったところです。また、苗の生育は順調で、移植作業、田植えですが、これは、5月18日から始まり、現在市内全域で移植作業が進んでいる状況です。

次に玉ねぎですが、移植が4月15日から始まり、平年より1日遅い5月2日に終わっています。移植後、適度な降雨により活着は良好だったものの、4月下旬の強風、低温により、黄化・葉先枯れが散見され、植えた日による、ほ場間での差も見られる状況となっています。

次に、秋播き小麦ですが、積雪期間が短かったため雪腐病の発生は少なく、生育は平年より3日程度早く順調に推移しているとのことです。

<質疑応答>

(HBC)

田んぼの、実際の農家さんのところ、現場に行かれたそうで、順調ということですが、農家さんからはどのような声がありましたか。

(市長)

ちょうど寒い日だったので、予定したよりは作業が少し遅れているけれども、全く問題はないということと、秋に向けて順調に生育して、豊穰の秋を迎えたいね、共にお祝いしたいね、というようにお話でした。

(HBC)

特に天候等については、今年はそんなに左右されていませんか。

(市長)

やはりですね、農協の方ともお話したのですが、玉ねぎが強風によって、黄化と言って葉先が黄色くなったり枯れたりするという、そういう症状が見られたので、そこは注意をしているという話でした。

(HBC)

風で、ということなのですね。

(市長)

風ですね。風と低温ですね。これからは雨の状況等がやはり気になるころではありますね。去年も確か6月は雨が多かったりしましたので。

(読売新聞)

秋まき小麦の草丈が本年は平年よりも太くて、莖数は少ないというのは、これはどういった特徴なのでしょう。

(市長)

ほぼ順調ということだというふうに私も理解していますけれども。

(農政部長)

雪が早く解けたという関係で、草丈が伸びるということですね。茎数は、去年がかなり多い年で、逆に多すぎて倒れるというような事態も起きていましたので、今年の茎数が平年並みなのかなと思うところです。

(読売新聞)

ちなみに何という麦ですか。キタノカオリとかですか。

(農政部長)

秋まきはキタノカオリと、きたほなみですね。

(読売新聞)

岩見沢市さんは、作付けの量としてはどちらが多いのでしょうか。

(農政部長)

きたほなみの方が圧倒的に多いです。

(市長)

キタノカオリは、作付けしているのは岩見沢だけでしたか、かなり減ったんですよ、全道的には。

(農政部長)

岩見沢では採種の方も行ってまして、あとは一般圃^ほで。十勝は、農協はやめたのですが、企業の方で引き継がれたとお聞きしています。

(読売新聞)

圧倒的に多いとのことですが、もし数字が分かれば。

(農政部長)

全体の面積、品種等、後ほどお知らせすることによろしいですか。

【記者懇談会終了後、市内での小麦の栽培品種と作付面積について、出席記者にメールで回答】

3 マイナンバーカードを利用したコンビニ交付などの当市の状況について（資料なし）

(市長)

ペーパーはないのですが、徳島市や横浜市で事例が出て、特にデジタル担当大臣から至急点検をするよというお話が出たところの、岩見沢の状況についてです。

私どもの委託している運営会社が富士通 Japan で、今回横浜市等でも事例が出た運営会社なのですが、岩見沢市の使っているシステムは安全に作動できていて、そういったトラブルは起きていないということについては既に確認はされています。

ですから、私どももそれを至急確認した上で、サービス提供を中止しないで、点検あるいは必要な作業等の調整を富士通 Japan と行っていたのですが、今回、全てを総点検するよという

話で、富士通の社長も先般記者発表なさっていました。

岩見沢市では今現在正常に稼働はしていますが、必要な点検を行った上で、安全性を確認したいということで今協議を行っていきまして、現在のところ、6月3日、4日にサービスの提供を中止して、しっかり点検をするということで調整中です。6月2日まではシステムは作動しますし、点検が終わった5日以降もまたすぐ作動するという予定ですが、今、状況がかなり輻輳していきまして、富士通も、全国の運用状況を見ながら各自治体との個別の調整作業に入っているのも、もしかするともっと早く点検作業を終えるかもしれませんし、正式に3日、4日に決まるかもしれません。富士通は現段階では6月4日までに作業を終えるということで、岩見沢市はできるだけサービスを停止する期間は短くしたい、できるだけ市民の皆さまにご不便をかけないように、最短の期間で速やかに安全を確認したいということで今調整をかけています。

なお、正式に協議が調うのは明後日ぐらいになるのではないかとということで今見込んでいますが、正式に決まりましたら、早急にプレスの皆様にお知らせいたしますので、報道の方もよろしく御協力いただければと思います。

マイナンバーカード関連でもう一点あります。昨日報道されていましたが、他人の口座が誤登録されているという状況が報告されました。岩見沢市でもその手順等について早速確認をいたしました。今回の誤作動の原因というのは、本来はマイナンバーカードをお持ちの方がご自分で登録手続きをするところ、それが困難な場合は市町村の職員等でサポートしてもいいですよということで、それぞれの自治体の職員等がサポートに入っているのですが、その中の手順で、お一人の方の登録手続きが終わったら一度ログアウトをしなければ、それがきちんとした情報として登録されないというシステムですので、ログアウトせずに次の方の手続きに入ってしまうと、次の方の口座情報が前の方の情報に上書きをされてしまう。そういう事象が起きているわけです。

岩見沢市では支援のサポートを行っておりますが、この手順については必ずログアウトしてから次の作業に入っているため、口座の誤登録ということについては現在のところ確認されておられません。手順についてもしっかり行っているということでございました。

< 質疑応答 >

(読売新聞)

6月3、4日にサービス提供中止とのことですが、影響は大きくなりそうですか。

(市長)

マイナンバーカードを使った証明書の発行量が、マイナンバーカードの交付枚数と関連してきますが、飛躍的に伸びていきまして、年ベースでお話しますが、まず令和2年度が1,925件、令和3年度が3,711件、令和4年度が6,169件、本当に大きく伸びています。月単位ですと、令和5年3月、年度末の3月ひと月で1,051件、今年の4月、令和5年度の初めが859件ですので、かなり飛躍的にサービスとしてはご利用いただいている状況です。

これまでも点検等が必要な際は1日運用停止ということはありませんでした。今回はしっかり点検す

るということですが、何とか2日間で必要なことを終えてということで、協議をしています。

サービス停止時期が早くなる可能性があるかもしれないというのは、総務省からは遅くとも5月中に点検を終えてくださいという要請が出ているんですよね。そこは富士通も承知しておりますので、そういった状況についても具体的に変われば即座に情報共有いたしますというような話でした。

(読売新聞)

今伺った発行件数は、各種証明書の発行件数ということですが、何が一番多いのでしょうか。

(市長)

コンビニですので、やはり住民票が多いですね。令和2年度の証明書の総発行枚数は1,925件と言いましたが、そのうち住民票が1,184件、印鑑証明書が741件、同じく令和3年度が総件数3,711件で住民票が2,175件、印鑑証明が2,541件、それから令和4年度が総件数6,169件、住民票が3,628件、印鑑証明が2,541件となっていて、住民票の方が多いですが、印鑑証明書の発行でも結構使われてきているところです。

なお岩見沢市は駅前の有明交流プラザのサービスセンターでは土曜、日曜、祝日も発行しておりますので、コンビニ以外でも本庁舎などの営業時間外にも発行ができるということになっています。

(読売新聞)

該当の方たちは、コンビニ交付を使えない6月3日に仮に欲しいといった場合は、それ以外の場所で発行をと。

(市長)

3日、4日が土、日なので、その際には本庁舎では発行できませんが、有明サービスセンターで発行できますので、ご利用いただきたいと思います。

(HBC)

先ほどおっしゃったように、確認した結果、誤交付などは特に今のところ発生していないということではよろしいですか。

(市長)

はい、発生していません。発生していませんし、岩見沢が使っているシステムでは、そういう事例は起きないということは確認しています。ただ、それでも全て総点検をするということですか。

3 その他記者から質問

<質疑応答>

(北海道新聞)

今年度は中長期財政計画がスタートしたということで、その中で1月の記者懇談会のときに発言されていた、公共施設の統廃合の加速をしていくというようなお話だったと思うのですが、本年度の検討スケジュールは今の時点で決まっているものはあるのでしょうか。

(市長)

今個別の施設計画のまとめに入っていますので、それを基に、これまでの利用状況あるいは維持経費なども総合的に勘案をしていきますが、もう既に地元との協議に入っている施設もあるので、ただ、そこはしっかり丁寧に協議を進めていきたいと考えていますので、いつまでにいくつということは考えていませんが、全体としてはできるだけ早く整理できるものについては、ご協力をいただきながら方向性を出していきたいと考えています。

(読売新聞)

マスク着用ですが、市役所は執務時間内では原則つけるということなのでしょうか。

(市長)

窓口対応の職員以外は個人の判断としています。ただ当面会議中はマスク着用しましょうということで、マスクをしていますけれど、別になくてもよければすぐ外しますし、今日も様子見ながら、皆さんしているなどと思って僕もしていたのですが。

(読売新聞)

何となく、執務中のカウンターの向こう側を見ていまして、通常勤務されている職員さんも皆さんしているなど思ったので。やはり緊張感が高いなど思いまして。

(市長)

それは個人の判断ですから、していない職員ももちろんおりますし、それは全然構わないです。個人の判断になります。

(読売新聞)

自主的にということですね。

(市長)

そうですね。あくまで個人の判断を尊重しているということになります。

(HBC)

今のお話で、窓口業務の方はまだつけるということにしているのですね。

(市長)

実は、アクリル板も窓口はそのまま残したのですが、どうしても感染リスクの高い高齢者の方ですとか、そういった方がご相談に来られるケースもありますし、また現実問題として、来庁される方がマスクをしているのに、職員がマスクなしで対応したときに、やはり不安を感じられるというのも実際問題としてあるので、その点については、窓口対応についてはマスクの着用をしましょうということにしています。これも当面なのですが。

(注) この記録は、重複した言葉遣いや明らかな言い直しがあったものなどを整理した上で作成しています。(作成：総務部秘書課広報係)